

開設年度		開講部局	
2010		共通教育	
科目名			
公共経営論			
英語科目名			
Public philosophy theory			
前後期		履修期	開講区分
後期		2期	集中
科目形態	単位数	大分類(科目)	中分類(分野)
講義	2	教養科目	分野2
受講学部学科			
担当教員		担当教員所属	
田尾 雅夫			
連絡先(TEL)		連絡先(MAIL)	
オフィスアワー(授業時間外の対応)			
講義中に指示			
共同担当教員			
キーワード1		キーワード2	
社会的貢献意識			
授業概要(目的・内容・方法)			
地方自治体の働きを知るために、組織論の立場からの地方行政論、あるいは行政管理論			
学習目標			
講義の成果としては、地方行政に関心を向けてほしいこと、そして地方自治体に就職して、住民のために働きたいという意欲をもってくれる学生が増えることである。			
授業計画(15回に分け、回数、授業内容、自学自習等)			
以下のスケジュールで講義を行う スライドの内容とテキストの内容が合致しない講や章もあるが、聴講者が初心者であることを前提に変更したので、全体としての流れは同じである			
イントロダクション(講義の方針)			
第1講 公共とは、公共の組織とは(テキスト第1章)			
第2講 公共サービスとは(テキスト第3章)			
第3講 戦略論1) 外部適応(テキスト第4章)			
確認小テスト1(一日目終了)			
第4講 戦略論2) ガバナンス、ネットワークの構築(テキスト第2章)			
第5講 組織論1) マネジメント(テキスト第5章)			
第6講 組織論2) 意思決定(テキスト第7章)			
第7講 市民と行政(テキスト第8章、第9章)			
確認小テスト2(二日目終了)			
第8講 人的資源管理1) モチベーション、ストレス、キャリア(テキスト第10章)			
第9講 人的資源管理2) 人事評価と人事考課(テキスト第10章)			
第10講 NPM1) 仕組み(テキスト第6章)			
第11講 NPM2) 評価(テキスト第11章)			
確認小テスト3(三日目終了)			
第12講 展望(テキスト第12章)			
要約とさらなる学習のために			
質疑応答(四日目終了)			

受講要件	成績の評価基準
特になし	集中講義の予定であるから、最終時に試験を実施する予定であるが、詳細は講義中に指示する。
教科書	参考書
「公共経営論」木鐸社	講義の際に紹介する
その他	